

■令和6年度使用 小学校（特別支援学校の小学部を含む）用教科用図書の【調査研究資料】（種目名：英語）

調査項目	着眼点	調査の方法	「調査項目」、「着眼点」の根拠
1 学習指導要領 (平成29年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> 4技能5領域の育成のために、どのような指導事項が重点的に取り上げられているか。 「知識及び技能」の習得及び「思考力、判断力、表現力等」の育成に向けてどのような活動が位置付けられているか。 それらの指導事項の構成・配列上の特徴はどのようにあるか。 	■小・学習指導要領解説総則編P34 各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力の観点 (1)知識及び技能の習得 (2)思考力、判断力、表現力等の育成 (3)学びに向かう力、人間性等の涵養
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> 他教科との関連について、また前学年（外国語活動）との接続についてはどのようにあるか。 	■小・学習指導要領解説総則編P48 各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを英語の授業で実現するための学習活動にはどのような特徴があるか。 	■小・学習指導要領解説総則編P76 資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うこと
2 岐阜県教育振興基本計画 (平成31年3月策定)	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 自分の住む町や日本の文化等について英語で表現する活動は、どの程度位置付けられているか。 	■岐阜県教育振興基本計画 第3次岐阜県教育ビジョン <基本方針 P10> 1-①「ふるさと岐阜」を学ぶふるさと教育の充実 1-⑥未来を創り出す人材を育成する学校づくりと地域との連携の推進 3-⑫ICTを活用した学習活動の充実 5-⑯ICTの環境整備と利活用の推進
	(2) ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 効果的に英語学習を進めるための二次元コードは、いくつ掲載されているか。 学習者用デジタル教科書には、どのような特徴があるか。 	2-⑦特別支援教育の推進 2-⑧学びのセーフティネットの構築等 2-⑨多文化共生社会を目指した外国人児童生徒等の教育の推進 2-⑩いじめ等の未然防止と早期発見・早期対応の徹底
	(3) 多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 外国の習慣や文化の取扱いは、どのようにあるか。 主な登場人物や題材には、どのような国や地域が扱われているか。 	
3 印刷・製本等	(1) 教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の厚み、総ページ数、重量等はどのようにあるか。 	
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> 障がいその他の特性の有無にかかわらず、児童に読みやすいものになっているか。 	
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 児童が活用できる巻末資料等には、どのような特徴があるか。 	